



MBT NEWS LETTER

第174号
'22/10/17

「奈良医大発ベンチャー企業の勧め」の発信から1年半 この間5社が起業 先行企業に起業後の自己評価をヒアリングしました

- ・2021年1月の仕事始め式において、細井裕司奈良医大理事長・学長からアントレプレナーシップマインドの重要性が説かれ、奈良医大発ベンチャー企業へのチャレンジが発信されました。
- ・それから1年半が経過して、下の表に示すように5社（着色部分）が起業し、奈良医大発ベンチャー企業は合計6社になりました。
- ・そこで、この機会にMBTコンソーシアムでは先行企業の創業代表者に、起業して良かった点、課題などのヒアリングを試みました（下表）。
- ・結果として、①これまでの無報酬の取り組みが有償化でき内容が充実、②活動の幅が拡大、③新たな挑戦ができる、など、“起業して良かった”と、好印象であることが聞き取れました。
- ・さらなる奈良医大発ベンチャー企業への挑戦が期待されます。

起業して良かった点	課題、期待外れなど	今後の起業にアドバイス
1, これまでボランティアでしか対応できず、断ることも多かった案件が、企業化して有償でも受けてくれることになり、結果として協力者に報酬が支払えることができ事業の拡大につながった。 2, 研究範囲の拡大や、これまであきらめていた新たな挑戦ができるようになった 3, 企業との付き合い幅が拡大し、社会の見聞が広がった。 4, 研究者としての自由度が高まった。	特に無し	ベンチャー設立後には、企業運営に伴う税務や労務関係の事務作業が発生することを認識して、その対応策も起業時に検討しておくこと

<奈良医大発6番目のベンチャー企業>

10/17 岡山弘美係長（人事課）「(株)MBTジョブレオーネ」を設立



奈良医大発ベンチャー企業認定書を持つ岡山弘美代表取締役

- ・奈良医大発6番目のベンチャー企業「(株)MBTジョブレオーネ」が10月17日に誕生しました。
- ・人事課の岡山弘美氏が創業者の本ベンチャー企業は、岡山弘美氏が奈良医大の業務で培った障害者雇用に関わる種々取り組みやノウハウを活かして、今後広く企業や種々組織の障害者雇用について、コンサルテーションや助言、実地指導、講演などが主業務となります。
- ・MBTコンソーシアムは30万円の出資を行い成長の支援を行って行きます。

奈良医大発ベンチャー企業の起業推移

No	起業日	上段：社名 下段：創業時代代表者
1	2018.10.01	MBTリンク株式会社 梅田智広（MBT研究所研究教授）
2	2021.07.01	MBT微生物研究所株式会社 矢野寿一（微生物感染症学講座教授）
3	2021.10.08	MBT感染対策支援コンサルティング株式会社 笠原敬（感染症センター病院教授）
4	2022.01.04	株式会社MBT保健医療衛生研究開発機構 今村知明（公衆衛生学講座教授）
5	2022.06.21	モルミル株式会社 森英一朗（未来基礎医学准教授）
6	2022.10.17	株式会社MBTジョブレオーネ 岡山弘美（人事課障害者雇用推進係）

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内
TEL: 0744-29-8853 (直通)、FAX: 050-3164-5598、

(公立大学法人) 奈良県立医科大学
担当 塩山

Email: mbt@mbt.or.jp